

会 議 録

会議の名称	第9期1月期 小金井市地域自立支援協議会 合同部会
事務局	福祉保健部 自立生活支援課、小金井市障害者地域自立生活支援センター
開催日時	令和8年1月21日（水） 午後6時15分から午後6時30分まで
開催場所	前原暫定A会議室
出席者	<p>【委員】※各専門部会の部会長のみ 室岡利明委員（会長、社会参加・就労支援部会会長）、佐々木宣子委員（相談支援部会会長）、浅野貴博委員（障害者支援施設検討部会会長）</p> <p>【事務局】 自立生活支援課長 自立生活支援課障害福祉係長 自立生活支援課相談支援係長 小金井市障害者地域自立生活支援センター</p>
会議内容	第9期 1月期 小金井市地域自立支援協議会 合同部会のとおり

(会長)

ただいまから、小金井市地域自立支援協議会合同部会を開催いたします。各部会での結果を共有したいと思いますのでよろしくお願いいたします。それでは、早速報告をしていきたいと思っております。初めに社会参加・就労支援部会の会議結果についてご報告をいたします。

今日は新たに委員が変更になったので、紹介をして、始めました。

前回までの話し合いでは、就労選択支援サービスについては既存のセンターにお願いをした方がいいのではないかということでしたが、その中で具体的にどんなことが必要かと話をしました。

まず、何が足りないかということ、サービスへの理解、また、意思決定支援の理解が足りていないのではないかという話ができました。

背景として、サービスを行っているのが多摩地域で10ヶ所ぐらいであり、田無特別支援学校の先生が傍聴に来ていて、個別で話を聞き、言っていたのは、今、田無特別支援学校が管轄している4市の中でやっているのは武蔵野市だけであった。在校生3年生2年生はどうしていったらいいのでしょうかという話を聞きました。

かつ既存センターでと言いましたが、負担感が強く、コストや研修を受けなければいけないなど人材が不足している。

また、福祉人材そのものが不足をしているので、人集めが大変であり、育成システムをしっかりしていけないといけないという話をしている。

どこの地域も、どうやろうか、どんなことをしていけばいいのか迷っている地域が多く、小金井市独自のやり方でも、始めてみるのが大事ではないかと話しました。

小金井市は既存センターが計画相談的にやるのか、それとも伴走型なのかと比べた時に私個人の意見としては伴走型の方がいいのではないかと思います。

計画相談の方がいて、田無特別支援学校の先生方がいて、しっかりわかっている方がアセスメントをして、伴走をしてこういう所がいいのではないかとサービス提供ができると一番いいのではないかとなっています。3月が最後の専門部会になるのでそこである程度のもを出し、最終的に皆様からご意見として伺ったものを結果として出したいと思っております。

以上です。

続いて、相談支援部会の報告をお願いいたします。

(相談支援部会長)

相談支援部会は、以前より実施の方向で話が出ていた市内相談支援事業所へのアンケートの概要案を出させていただいて、それについてのご意見を伺いました。

このアンケートをするにあたって、市内の状況や目的、対象、調査方法、質問の案をまだアンケートという体裁にはなっていないところなのですが、箇条書きの項目として挙げさせていただいて、委員の皆様にも補足するところや、どのような聞き方をするかという意見を聞いています。

件数がもっとわかるような形がいいのではないかと、聞こえない方への工夫などどのようにしているかという少し広い内容も入ったらいいのではないかと、相談支援専門員のモチベーションに通じるような、例えば、休めているのかなども聞いてみたいと意見が出ました。

ICTについて、どのようなソフトを使っているのか、金額はどれぐらいかかっているのかと回答いただけたところには聞いてみたい。

その中でアンケートは、あまり広くやってしまうと、広い項目過ぎて回答する方にも負担になり、まとまりがなくなってしまうと思うので、このアンケートは次期に引き継ぐというところを前提に検討しているので、その引き継いだ先でまた精査していただき、その前段階で私と事務局と一緒にある程度精査する必要があるところは精査することを確認し終えています。

箇条書きで案を出していただいたということもあって、少し具体的なご意見も伺えたと思うので、これを次の会にいい形で引き継げるといいと思います。補足ございますか。

(事務局)

ございません。

(会長)

ありがとうございました。

それでは続いて障害者支援施設検討部会をお願いします。

(障害者支援施設検討部会長)

施設検討部会では11月21日、武蔵野会が運営しているリアン文京に視察に行き、その報告を事務局からしていただきました。当日、参加できなかった委員も数名いますので意見交換をしました。

来週の月曜日にシャローム南風という規模はコンパクトな施設になりますが、私を含め5名の委員で行きます。これまで1回目が小平福祉園という広大で平屋でというつくりの所と前回のリアン文京、来週行くシャローム南風、それぞれの地域性を踏まえて見てきたのでそれらを参考にして考えていこうと思います。国の流れは入所施設を減らしていくということですが、例外的に入所施設を作るとしたら地域に開かれた地域生活支援型入所施設であれば作る事が出来るという東京都の障害者計画なので、入所施設にプラスアルファとしてどういった機能を小金井市で入所施設を作るとしたら加えていくのか具体的な案を詰めていくには、まず土地のことでどれほどの規模でというところが見えてこない

と具体的なところまでいかないですが、この施設検討部会の9期委員の理解としては、3回の施設視察を踏まえ、こういった機能があればと報告としてまとめることがこの期のゴールになるかと共有しました。

また、年末に手をつなぐ親の会の皆様と事務局で清瀬にあるひだまりの里清瀬にも視察に行かれました。

小金井だったらどういった機能を付け加えていくのかというところでまとめて行ければと思っております。

(会長)

次にその他になります。何かございますか。

特にないようですので、これで終了したいと思います
ありがとうございました。